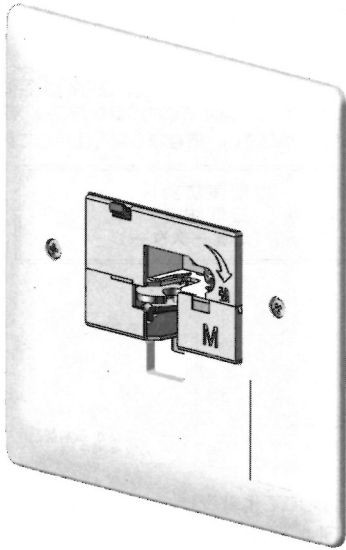


取扱説明書

自動閉鎖装置 (ラッチ式・防火戸用)

RM-2



ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
正しくお使いいただくために、内容をよく理解した上で
ご使用ください。

この取扱説明書はいつでもお読みいただけるように大切に保管
してください。

NEW★STAR 日本ドアーチエック製造株式会社
SINCE 1919

1. 使用上の注意

■安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、
あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもの
です。記載内容を十分に理解し、必ず指示された内容に従って
ください。

警告

内容を守らなかった時に、取扱関係者が死亡または重傷を
負うか、防災機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定さ
れる場合。

注意

内容を守らなかった時に、取扱関係者が損傷を負うか、物
的損害が発生する危険な状態が生じる可能性がある場合、
または防災機能の一部に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

「一般的な注意」事項を示す場合。

「一般的な禁止」事項を示す場合。

「一般的な指示」事項を示す場合。

2. 製品の概要

・本製品は、感知器の作動により、自動的に防火戸を閉鎖させる
装置です。

警告 機器を分解・改造・修理をしないでください。感電・
故障・発熱・発火の恐れがあります。

仕 様

型 式	RM-2
定 格 電 圧	DC24V
定 格 電 流	50mA
使用電圧範囲	DC16V～DC32V
保 持 力	約 98～686N 調節可能
使用温度範囲	-10℃～40℃
作 動 形 態	通電作動型
再ロック防止方法	機械的方法
出面調節範囲	15mm～40mm
リード線	耐熱ビニール電線 0.5mm ²
適合埋込ボックス	大形四角アウトレットボックス
適合塗代カバー	スイッチカバー 2 個用塗代付
リミットスイッチ 接点容量	AC125V,3A DC30V,2A (※1)
仕 上 げ	本体 : SPCC 化粧プレート: ABS 樹脂
質 量	約 0.75kg (扉保持フック含)
内 部 回 路 (扉保持状態)	
付 属 品	取付ネジ、出面調節ピース、扉保持フック、本書
自主評定型式承認番号	C-12-1

(※1. 但し、赤-黄間は DC30V,0.5A となります。)

NEW★STAR 日本ドアーチエック製造株式会社

SINCE 1919

東京本社 / 〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号 TEL(03)3871-1411(代)
(ニュースター東京ビル)

大阪本社 / 〒544-0014 大阪市生野区巽東三丁目17番10号 TEL(06)6758-1251(代)

札幌支店 / TEL(011)851-8255～6 仙台営業所 / TEL(022)284-7501

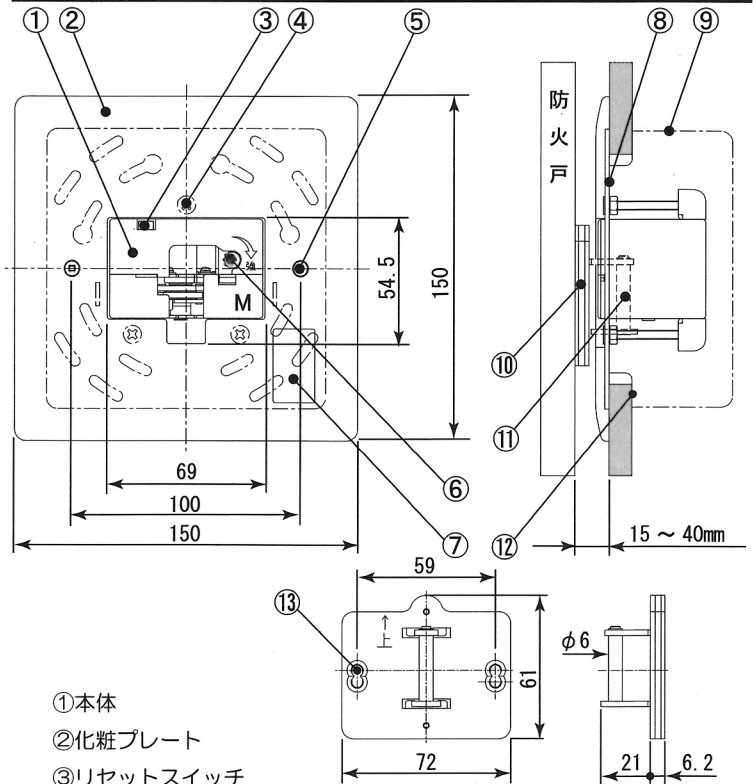
北陸支店 / TEL(076)243-2120(代) 静岡営業所 / TEL(054)238-2751

名古屋支店 / TEL(052)981-7531～2 広島営業所 / TEL(082)877-1611～2

福岡支店 / TEL(092)271-5491(代) 高松営業所 / TEL(087)843-1212～3

ホームページ <http://www.e-newstar.co.jp/>

3. 外観図

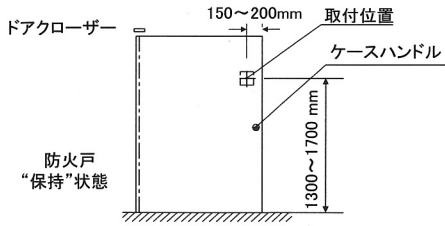


- ①本体
 - ②化粧プレート
 - ③リセットスイッチ
 - ④出面調節ネジ
 - ⑤化粧プレート取付ネジ
 - ⑥保持力調節ネジ
 - ⑦自主評定マーク
 - ⑧取付板
 - ⑨大形四角アウトレットボックス
 - ⑩扉保持フックスライドベース
 - ⑪扉保持フック
 - ⑫スイッチカバー 2 個用塗代
(122×122×13)
 - ⑬扉保持フック取付穴
- (単位: mm)

4. 取付方法

[1] 取付位置

取付位置は、下図に従ってください。

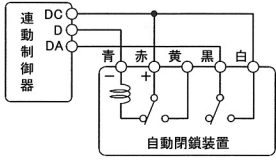


[2] 配線の接続

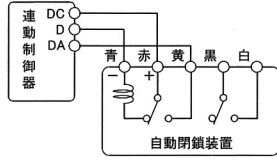
本製品は無極性なので、電源線は極性に無関係に接続できます。

赤線：+側（-側） 黄線：確認線（管理用防火戸として使用する場合）

青線：-側（+側） 黒線、白線：確認線（通常使用する場合）



通常の結線方法



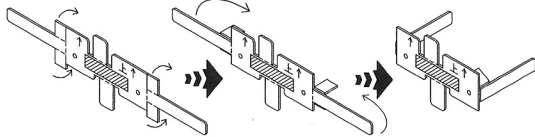
管理用防火戸として使用する場合の結線方法
(手動作動時、応答信号を発生しません)

警告

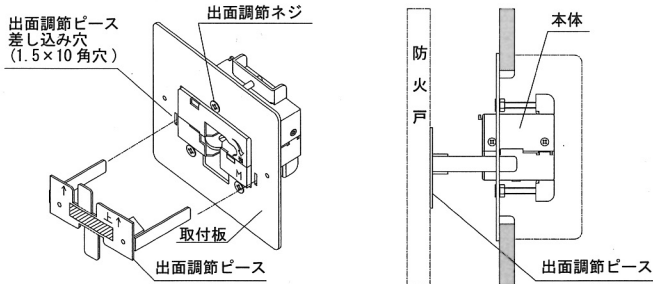
各端子への配線は所定の定格容量、極性に従い正しく配線してください。誤った場合、故障・発火の原因となります。

[3] 調節方法

(1) 出面調節ピースを下図の様に山折りに折ってください。(6カ所)



(2) 取付板角穴(1.5×10)に面調整ピースを5mm程度差し込み、防火戸を戸袋あるいは壁面と同一面になるように押しつけてください。



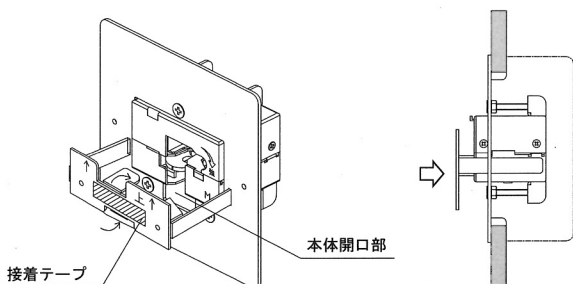
(3) 出面調節ピース裏面に本体正面が当たるまで、出面調節ネジを右へ回してください。(注) 出荷時は出面調節範囲の最小値です。

- ・3カ所ある出面調節ネジを交互に回し、正面が垂直になるように調節してください。
- ・本体と扉保持フックの角度が0°の場合、出面調節範囲は15mm～40mmですが、角度がある場合はこの範囲が異なることがあります。
- ・出面位置が決まりましたら、出面調整ピースに目印をつけておいてください。作業中、位置ずれが起きた場合でも調整可能になります。

注意

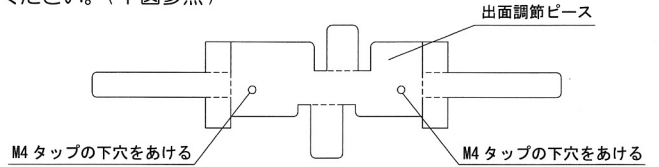
出面調節ネジを出荷時の状態より左に回さないでください。本体が脱落し、防火戸を保持できません。

(4) 出面調節ピースを途中まで引き抜き、出面調節ピース中央2カ所を山折りに折り、本体開口部へ差し込んでください。



(5) 出面調節ピース表面の接着テープの紙をはがし、防火戸を自動閉鎖装置に押しつけて、防火戸に出面調節ピースを貼り付けてください。

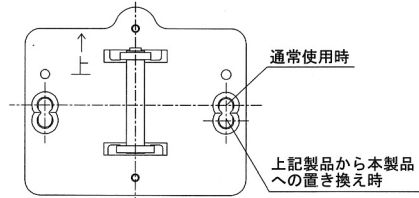
(6) 出面調節ピースに合わせて、防火戸にM4タップ用の下穴をあけてください。(下図参照)



(7) 出面調節ピースを防火戸からはがし、あけた穴にM4ネジ用のタップを切ってください。

(8) 扉保持フックを、M4×16ネジ(付属品)にて防火戸に取り付けます。
(注) 以下の製品から本製品へ置き換える際は、扉保持フック取付穴の下側を使用してネジを固定してください。既存ねじ穴を使用して取り付けられます。

- ◆SLD058 (能美防災)
- ◆BSLD058 (日信防災)
- ◆RM-2 (ニュースター)



(9) M3×6ネジ(付属品)にて化粧プレートを本体に取り付けてください。

(10) 保持力(98～686N)を調節してください。
(注) 出荷時には約100Nに調節されています。

警告

保持力は適切な大きさに調節してください。小さい場合、正常作動時以外に扉が閉じ、人に対して危害を及ぼす恐れがあります。

警告

保持力調節ネジを目一杯締め込まないでください。正常に作動しなくなることがあります。

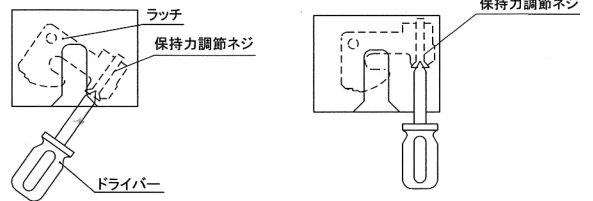
5. 保持力の調節方法

保持力は出荷時、約100Nに調節してありますが、調節する必要がある場合は次の順序で行ってください。

- ①+ドライバーで保持力調節ネジを回転させ、調節してください。
保持力の調節は保持状態、非保持状態、どちらの状態でも可能です。
(注) 保持状態で調節した場合は、通電により非保持状態へ戻してください。

【非保持状態】

【保持状態】



②保持力調節ネジを左に回すと保持力は小さくなり、右に回すと保持力は大きくなります。

- 初期位置から右に1回転時、保持力は約250Nになります。
- (注1) 保持状態の防火戸を引っ張り、簡単に外れない程度に調整してください。
- (注2) 手で防火戸を開閉する場合、約300N以下で設定してください。

6. リセット方法

- ①接続されている連動制御器の復旧操作を行ってください。
(注) 連動制御器の復旧方法は、設置されている制御器の取扱説明書をご参照ください。

②本体のリセットレバーを押した後、防火戸を保持してください。

警告

リセットを確実に行ってください。リセットしていないと防火戸は保持せず、人に対して危害を及ぼす恐れがあります。

警告

防火戸保持後、再度、確実に保持しているかの確認をしてください。確実に保持していない場合、正常作動時以外にロックが外れ、人に対して危害を及ぼす恐れがあります。

警告

防火戸の近くに物を置かないでください。火災時に所定の機能を発揮できません。